

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立花背小中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

- 1. 確かな学力の育成(小中9年間の一貫教育による確かな学びの構築)
- 2. 豊かな心の育成(施設一体型一貫校・へき地小規模校の特性を活かした協働活動)
- 3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立, 体力の向上)

2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果, その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成26年9月1日	評価日	平成26年9月18日
					評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに)	学校運営協議会 学校評議員
1 確かな学力	わかる授業の創造	・各教科での言語活動のさらなる充実 ・全体及び各期の授業研究	・京都市学習支援プログラムの結果 ・授業研究会の実施回数	・ジョイントプログラム第5回[小学校総まとめ]国語の正答率が前回比で13%上昇, 算数は全市平均を大きく上回る	・算数では算盤学習と連携した取組の効果が出ていることも窺える。 ・「家庭ではしっかりと読書をしている」保護者の割合は60%で、習慣化しているとまでは言えない。 ・「家庭学習」のとらえ方に、児童生徒と保護者との間に差異が認められる。	・思考力, 判断力, 表現力等の効果的な育成を図るために、あらゆる教科で言語活動の充実を具体的に行う。 ・読書や家庭学習の時間を確保してもらうため、各家庭で携帯電話の使用、メディア視聴やゲーム時間について見直してもらう。 ・「自学自習のすすめ」を学級通信や懇談会等で活用する。	・学校図書館の整備が進んでいる様子がよく分かります。本好きの子どもが増えるといいですね。	・家庭学習の習慣や家庭での読書習慣を身につけさせるのは、保護者の声掛けが大切だ。運営協議会として地域から保護者に働きかけることを考えていきたい。
	読書の習慣化	・毎日の朝読書の実施 ・100冊読書の取組 ・学校図書館の整備	・朝読書の時間にはしっかりと読書をしていますか	・「できている」児童生徒の割合は94%				
	家庭学習の習慣化	・学年に応じた課題提示 ・テスト前をはじめとする家庭学習計画表の取組	・家庭学習をしっかりとしていますか	・「できている」児童生徒の割合は94%、「(あまり)できていない」保護者の割合は30%				
2 豊かな心	豊かな体験活動の実践	・花背アーフームの取組 ・「花背学習」における地域の伝統や文化にふれる活動	・学校行事や地域の行事に進んで参加していますか	・「している」児童生徒の割合は91%	・「花背学習」における様々な体験活動により、地域に対する思いが深まっている。 ・児童生徒の割合はそれぞれ、「している」88%, 「できている」85%、保護者の割合はそれぞれ、「している」80%, 「できている」30%	・より多様な活動が行えるよう、地域の豊かな人材のさらなる発掘と活用を行う。 ・児童会や生徒会を中心とする子ども自らの主体的な取組を通じて、意識をさらに高めさせる。 ・来年度での取組を見越して、文化祭では8年生にもリーダーとしての意識をもたせる。	・花背学習を通して学校がどのような子どもを育てたいのかが地域にしっかりと伝わっていないのではないか。 ・挨拶については家庭での躾の部分が大きいが、子どもは人と接することに対してあまり慣れていないことがあるのではないか。地域の活動に参加する中で人間関係がつぶれていいく面もあるので、子どもをどんどん出させていくという親の意識も大切である。	・地域に対して花背学習9年間のカリキュラムを示してもらうことで、さらに協力できることを考えていきたい。
	あいさつの励行と望ましい言葉遣いの徹底	・登下校時の声かけの取組	・友だちや教職員の方や地域の方に進んでいきつをしていますか、「丁寧な言葉遣いができるていますか」					
	支え合い高め合う集団づくり	・異年齢集団による縦割り活動の取組	・児童生徒の変容 ・振り返りアンケートの記述内容	・同じ目標をもてはみんながまとまるところを学んだ」「みんなをまとめることがとてもむずかしいことを知った」				
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	・毎日の健康観察カードの取組 ・保健指導	・早寝・早起きなど、規則正しい生活をしていますか	・「している」児童生徒の割合は82%		・毎日の健康観察カードへの記入により、就寝及び起床時刻、朝食に対して関心はもっている。 ・運動することの楽しさや喜びをより一層味わわせるために、児童生徒自身による行事の企画実施を行う。	・川の水で水泳学習をしていることが気にかかります。衛生基準は満たしていますが、周辺の環境に学習が依存するようでは不安を感じます。	・まちづくりの一環として、地域として考えていきたい。
	体力の向上	・遊びやスポーツを通じた運動の習慣化 ・4年生からの運動部活動の実施	・しっかりと運動をして、体力をつけていますか ・新体力テストの結果	・「つけている」児童生徒の割合は88%				
4 独自の取組	小中一貫教育の充実と発展	・期の取組 ・学習の柱部会の取組 ・花背わくわくバンドの取組	・期の会や学習の柱部会の実施回数 ・演奏発表回数	・期の会を月行事の中で定期化 ・2回(運動会と森都市フェスティバル)の発表	・日常的な情報交換も含め、期の会の実施回数の増加が取組の充実につながっている。 ・これまでの一貫した取組とあわせて、専門性ある地域の方々の支援により、演奏に対する自信が深まっている。	・学習の柱部会の取組をさらに充実させる。 ・既存の曲の完成度を高めるとともに、新しい曲への挑戦を通して意欲をさらに高める。 ・ホームページ担当者だけでなく、各教職員がそれぞれの立場(学年など)から発信することによって、より広く深く学校のことを伝えていく。	・演奏レベルは確実に上がりつつある。 ・既存の曲の完成度を高めるとともに、新しい曲への挑戦を通して意欲をさらに高める。 ・ホームページ担当者だけでなく、各教職員がそれぞれの立場(学年など)から発信することによって、より広く深く学校のことを伝えていく。	・特色ある学校づくりがより一層進められるよう、いろいろな面から応援していただきたい。
	情報発信の充実	・積極的なホームページの更新 ・学校だより等の全戸配布	・学校ホームページのアクセス数 ・全戸配布回数	・夏季休業前までの1日平均アクセス数50回				